

意見書

平成23年3月4日

情報通信行政・郵政行政審議会
電気通信事業部会長 殿

郵便番号 900-0034
住所 沖縄県那覇市東町4番地1
氏名 沖縄通信ネットワーク株式会社
代表取締役社長 仲宗根朝整
電話番号

情報通信行政・郵政行政審議会議事規則第4条及び接続に関する議事手続規則第2条の規定により、平成23年1月25日付けで公告された接続約款の変更案に関し、別紙のとおり再意見を提出します。

連絡者：
(電話番号)
(メールアドレス)

別紙

会社名	沖縄通信ネットワーク株式会社
氏名	代表取締役社長 仲宗根 朝整
住所	900-0034 沖縄県那覇市東町4番地1
連絡先	連絡担当者氏名： 電話： FAX： e-mail：

意見番号	No. 22
意見提出者	KDDI 株式会社
提出された 意見内容 (該当箇所)	<p>【別紙1頁19行目】</p> <p>4) 1分岐単位接続料の課題</p> <p>①OSU設備を共用することについて、当時から指摘されていたサービスの均一化、新サービス提供の支障という問題は現時点でも解決しているわけではありません。</p> <p>当社の「ギガ得プラン」サービス実現にあたっては、より安く、より良いサービスを機動的にお客様に提供可能とするため、自由なサービス設計を行える自社専用のOSUを設置しております。</p> <p>②当社は2008年以来、8分岐単位での利用により「ギガ得プラン」サービスを提供しておりますが、設備の利用効率を高め、コストを下げるべく企業努力を重ねることにより、8分岐単位の利用でも収支を成立させることが可能となってきております。OSU専用の1分岐単位接続料については、むしろ、1分岐しか利用しないモラルハザード的な利用の懸念が当時から指摘されております。</p> <p>上記から、課題の状況を踏まえ、1分岐単位の接続料については、安易に導入すべきでないと考えます。</p>
上記の意見内容 に対する再意見	<p>弊社は、KDDI 殿の「一分岐貸し制度導入反対」という意見について賛同いたします。</p> <p>現行の制度(1芯単位)でもKDDI 殿はNTT東西殿から光ファイバを借り、「ギガ得プラン」サービスを提供されています。</p> <p>これは、現行制度においても接続事業者の取り組み方の工夫によってサービス展開が可能であることを証明しています。</p> <p>今後も現行制度を活用する創意によってさらなる市場の活性化が図れると期待します。</p>